

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 5月13日更新

事務事業名	校舎等施設修繕事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	教育の健康		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 末永 舞
	施策	9	義務教育の充実		所属課	学校教育課	担当者名 吉田 夕佳
	施策の柱	36	義務教育施設の整備		所属班	総務施設班	(内線) 5312
予算科目	会計一般	款 10	項 1	目 2	事業連番 10719 他	根拠法令	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	学校施設の維持向上のため修繕工事等を行う。毎年、不具合が生じている学校施設の復旧を行っており、当然必要なものである。特別な変化はない。また、校舎の長寿命化を図るため、調査・設計・改修工事を行う。また、市内の児童生徒数の増加に伴う各校の教室不足を調査し、不足がないよう増築計画、設計、工事を行う。
【業務の流れ】	設計委託業者を決定後、学校の要望等を確認しながら実施設計を完成させる。その後、実施設計を基に工事発注を行い、修繕工事等を実施した。
【主な予算費目】	委託料、工事請負費。
【意見や要望】	特にはない。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
<p>【共通】市全小中学校の施設修繕等工事のため、学校施設点検、工事監督等に必要な公用車のガソリン代等を支出した。また、合志中学校駐車場として近隣民有地を借り上げ駐車場の確保を行った。</p> <p>【小学校】西合志第一小学校普通教室改修工事、西合志第一小学校空調機更新工事、合志小学校電話機一式交換工事、合志風の森小学校図書室ガラスフィルム工事等が完了した。また、合志南小学校トイレ改修工事実施設計業務委託、合志小学校体育館屋根防水改修工事実施設計業務委託を行い、学校施設改修・増築設計図書を完成させ、学習環境向上のための施設改修工事等が完了した。また、今後予定している西合志第一小学校長寿化改修工事、西合志東小学校予防改修に向けて実施設計業務委託が完了した。西合志南小学校および西合志中央小学校の増築工事が完了した。</p> <p>【中学校】西合志中学校教室大規模改修工事、西合志南中学校放送設備改修工事、合志風の森中学校部室設置工事が完了した。合志中学校トイレ改修工事を実施し、今後の快適な学習環境の確保ができた。また、合志中学校教室の長寿命化改修工事実施設計業務委託が完了した。また、合志風の森中学校区において急遽な住宅開発等による児童生徒数増に伴う教室不足が見込まれるため、校舎増築工事実施設計業務委託をしている。</p>		<p>市内小中学校の施設修繕工事等に関する事務を行う。</p> <p>また児童数増加に伴う教室不足解消のため校舎増築の設計及び工事を行っていく。</p>
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア 工事件数		【共通】合志市学校施設適正化検討業務委託に伴う事業費の増 【小学校】令和5年度に西合志南小学校、西合志中央小学校の増築工事完成(予定)による事業費の減 【中学校】合志中学校増築実施設計業務委託、合志風の森中学校増築による事業費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 校	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市内小中学校の施設、施設利用者。	→ ア 学校数	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 校	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
適正な状態に復旧する。 学校施設の長期利用が出来るよう改修を行う。	→ ア 修理を行なった学校数	
	→ イ 修理を行なった学校の復旧割合	%
*③成果指標設定の理由と6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
市内12校の修繕等の工事を行い、適正な状態に復旧するため。		0

各指標・総事業費の推移	単位	3年度	4年度	5年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 件	26	46	15	57	15	15	15	15	
② 対象指標	ア 校	12	12	12	12	12	12	12	12	
③ 成果指標	ア 校	12	12	12	12	12	12	12	12	
	イ %	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資入費量	国庫支出金	千円		91,993	108,190	121,102	80,736	225,565	138,800	155,300
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円	4,500	225,600	129,600	141,200	651,500	801,500	444,400	508,500
	その他	千円								
	繰入金	千円			400,300	400,300				
	一般財源	千円	39,269	132,576	221,332	187,613	132,434	166,090	132,165	145,566
	(A) 事業費計	千円	43,769	450,169	859,422	850,215	864,670	1,193,155	715,365	809,366
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	116	116	116
	正規職員従事人数	人	3	4	4	4	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	3,278	2,894	3,900	2,637	3,900	3,900	3,900	0	
(B) 人件費計	千円	12,816	11,014	15,537	9,603	15,537	15,537	15,537	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	56,585	461,183	874,959	859,818	880,207	1,208,692	730,902	809,366	

事務事業名	校舎等施設修繕事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-----------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 実施設計を行い、修繕等の工事を発注する予定である。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 実施設計を行なっているため、現状維持が妥当である。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に方法が無く、妥当である。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正な規格や品質があり、それらを実施設計の中に反映している。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員で対応しているため、削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 学校は公共施設であり、施設の安全確保は当然の義務である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 専門性の高い業務であるため、適正である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

施工業者を決定し、市内小中学校の修繕等の工事を行うことができた。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						